

霞

— 2023年度 博物館だより —

土浦市立博物館
令和5年7月1日発行(番外第13号)

土浦市立博物館は、大規模改修工事のため、令和4年7月5日(火)から令和6年1月5日(金)まで休館いたします。博物館だより「霞(かすみ) 番外」では、毎月、工事の進捗状況や館外で開催する展覧会や講座の情報をお伝えします。休館中の「おうちミュージアム」(解説動画)では、土浦市内の史跡や文化財などの見どころを紹介いたします。

博物館は休館中！(13)「各種講座を行っています」

博物館休館中も、出前講座などを実施しています。会場や申込み先はそれぞれ異なりますので、ご確認のうえお申込みください。なお、学芸員による出前講座の実施を新たにご希望される場合は、当館へご相談ください。



土浦ミュージアムセミナーの様子



常陽藝文講座の様子

博物館からのお知らせ

※開催日時などの最新情報は、博物館ホームページを参照ください。

○館長講座「館長が語る歴史物語」

日程(全5回): 9月6日(水)、9月13日(水)、9月20日(水)、10月4日(水) 10月11日(水)

時間: 10:00~12:00

会場: 土浦市生涯学習館 研修室1・2

定員: 70人 ※定員を超えた場合は抽選になります。

受講料: 500円(全5回分の資料代として)

申込方法: 往復はがきに郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ、以下の宛先まで郵送してください。
〒300-0043 土浦市中央2-16-4 土浦市亀城プラザ内
博物館「館長講座係」

申込締切り: 令和5年7月28日(金) 当日消印有効

各回の内容は以下の通りです。

- 第1回 後醍醐天皇と足利尊氏〈日本史上の革命〉
- 第2回 常陸国守護体制〈武家佐竹氏の台頭〉
- 第3回 幕府と鎌倉府〈関東武家の秩序〉
- 第4回 京都扶持衆と鎌倉奉衆〈関東内乱の背景〉
- 第5回 武家と社寺〈中世信仰の原点〉

○夏休みファミリーミュージアム① 映像上映会「戦争の記憶」

戦争の記憶を残す場所や市民の記憶をまとめた映像2作品を公開します。

日時: 8月11日(金・山の日) 10:30~11:50(午前の部)、13:30~14:50(午後の部)

定員: 午前の部・午後の部 各回20人

会場: 土浦市民ギャラリー(オープンギャラリー第2室)

申込方法: 7月11日(火) 午前9時から電話で市立博物館までお申し込みください。 TEL 029-824-2928

協力: ピースアクション実行委員会

土浦汽船発着所

— 汽船定期航路の面影 —

今日において霞ヶ浦を行き来する船は、観光遊覧船が中心です。しかし、かつては土浦を定時発着する汽船（蒸気船）が運航し、各地を結ぶ定期航路が設けられていました。今回は、土浦の汽船発着所（現川口二丁目 土浦港）を紹介します。

土浦を発着する汽船は、明治16（1883）年には就航していたと考えられています。この時に就航していたのは土浦—銚子を結ぶ、銚子汽船会社の汽船でした。同43年の『利根川汽船航路案内』によれば、当時土浦を発着した定期航路は、土浦—佐原、土浦—銚子、土浦—鹿島、土浦—江戸崎の4系統が確認できます。これらはいずれも直行便ではなく、沖宿（土浦市沖宿町）や島津（阿見町島津）、麻生（行方市麻生）、玉造（行方市玉造甲）、牛堀（潮来市牛堀）などを經由して目的地を目指しました。

霞ヶ浦や利根川下流では、内国通運会社や銚子汽船会社の汽船が多くを占めていました。しかし、大正8（1919）年12月になると、内国通運会社が航路権と船舶を東京通船会社へ譲渡し、定期航路事業から撤退します。一方で、同10年に臨時海軍航空術講習部が阿見村（阿見町青宿ほか）に創設され、翌年霞ヶ浦海軍航空隊として独立すると、飛行訓練などを見学するために多くの人々が土浦を訪れました。これにより汽船も満員の賑わいをみせたことが、同10年7月15日の新聞『いはらき』（現茨城新聞）で報じられています。



景ノ所管船汽浦土 所名陸常

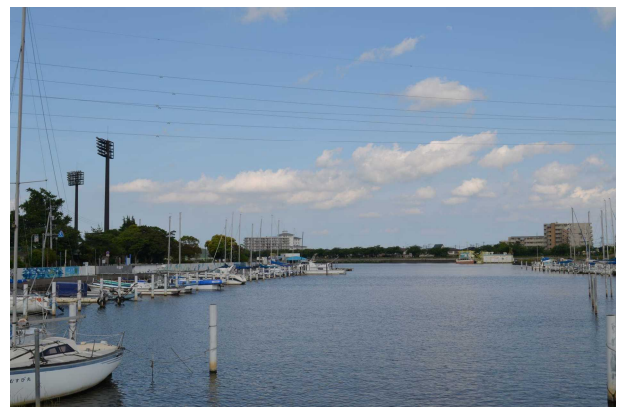
絵葉書 常陸名所 土浦汽船発着所ノ景（当館所蔵）

大正時代末期から昭和10年代にかけての時期には、霞ヶ浦を中心に鹿島・香取両神宮などをめぐる「水郷めぐり」が人気を博しました。東京通船会社や銚子汽船会社以外にも、多くの汽船会社が、土浦を発着する定期航路を設けています。昭和6（1931）年に発足した水郷遊覧汽船会社（前身は東京通船会社）は、土浦—鹿島を結ぶ、あやめ丸やさつき丸などの急行船を就航させています。これにより、5時間ほどかかっていた鹿島までの乗船時間は、3時間ほどに短縮されました。

地域住民や観光客を乗せて活躍した汽船の定期航路は次第にその役目を終えることとなりました。現在では、土浦の汽船の発着所はヨットやモーターボートなどの係留場所として利用されています。

（西口正隆）

かつて土浦汽船発着所があった場所（川口二丁目）



左のQRコードから解説動画のウェブページへアクセスできます。

霞（かすみ） 2023年度 博物館だより（番外第13号）

編集・発行 土浦市立博物館 茨城県土浦市中央1-15-18
TEL 029-824-2928 FAX 029-824-9423
<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/dir000378.html>

博物館だより「霞」番外第14号の刊行は、令和5年8月1日（火）を予定しています。

※「霞」バックナンバーは、当館ホームページからもご覧になれます。（カラー版）